

2022/05/16 (月)

朝の礼拝

聖書 マルコによる福音書 4章 1-9節 (新約聖書66頁)

イエスは、再び湖のほとりで教え始められた。おびただしい群衆が、そばに集まって来た。そこで、イエスは舟に乗って腰を下ろし、湖の上におられたが、群衆は皆、湖畔にいた。イエスはたとえでいろいろと教えられ、その中で次のように言われた。「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。ほかの種は茨の中に落ちた。すると茨が伸びて覆いふさいだので、実を結ばなかった。また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。」そして、「聞く耳のある者は聞きなさい」と言われた。

三十倍、六十倍、百倍

「種を蒔く人」という例え話です。種とは神様の言葉、蒔く人はイエス様、そして蒔かれた土地は神様の言葉を聞く人の心です。当時、種は手で驚づかみにしてばら蒔きにされていました。

ばら蒔かれた種は道端、石地、茨の中にも落ちました。ですから芽が出ない、すぐに枯れた、生長が止まって無駄になった種はよくあったことで、聞いていた人々も驚きませんでした。驚いたのは良い土地に落ちた種の収穫です。

その収穫が30倍、60倍、100倍になったと言うのです。しかし実際にそんなに実がなる種はありません。つまり、神様の言葉を聞いて実行することが、どれほど素晴らしいことかと言っているのです。

私たちは蒔かれた土地、つまり神様の言葉を聞いている自分の心が気になります。しかし神様は種がどれだけ無駄になっても種を蒔き続ける、神様の愛を、神様の心を行う素晴らしさ、信じられない喜びを伝えているのです。

(しばらく黙祷しましょう)

祈りましょう

すべての知恵の源である主よ、英和生を守りスタディツアー、イングリッシュキャンプ、校外研修、修養会を通して尊い体験と学びを与えてくださったことを感謝します。英和生は日々の礼拝、学び、生活を通して神様の愛が行われることを祈り願っています。どうかこれからも互いに励まし学び続け小テスト、単元テスト、高校2年生、3年生の中間テスト、また部活動の大会とコンテストの発表に向けて良き備えをし、喜びと感謝へと導いてください。そしてどうか私たちをあなたの平和の道具として用いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン